



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場会社名 文化シヤッター株式会社
 コード番号 5930 URL <http://www.bunka-s.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 潮崎 敏彦
 (氏名) 西村 浩一

TEL 03-5844-7200

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第3四半期 | 97,839 | △0.4 | 3,918 | △35.3 | 4,042 | △35.1 | 2,335 | △33.1 |
| 28年3月期第3四半期 | 98,227 | 12.6 | 6,053 | 12.1 | 6,226 | 6.1 | 3,490 | △10.2 |

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 3,505百万円 (△12.7%) 28年3月期第3四半期 4,015百万円 (△12.8%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第3四半期 | 32.58 | — |
| 28年3月期第3四半期 | 48.68 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年3月期第3四半期 | 136,772 | 62,793 | 45.9 |
| 28年3月期 | 130,098 | 60,721 | 46.7 |

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 62,793百万円 28年3月期 60,721百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 |
| 29年3月期 | — | 10.00 | — | | |
| 29年3月期(予想) | | | | 10.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|-------|-------|------|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 147,000 | 2.7 | 9,000 | △10.8 | 9,500 | △9.7 | 6,400 | 0.8 | 89.27 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 29年3月期3Q | 72,196,487 株 | 28年3月期 | 72,196,487 株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 29年3月期3Q | 502,137 株 | 28年3月期 | 501,940 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 29年3月期3Q | 71,694,408 株 | 28年3月期3Q | 71,694,646 株 |
|----------|--------------|----------|--------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策等を背景に雇用・所得環境は緩やかな回復基調が続いているものの、中国経済の停滞や英国の欧州連合（EU）離脱決定に端を発した欧州経済の混乱等、世界経済の減速懸念により、景気の先行きに対する不透明感が高まる状況で推移しました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、97,839百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。利益面におきましては、当連結会計年度よりスタートさせました新中期経営計画のもと、グループ一丸となって利益率の向上やコスト削減に取り組んでおりますが、営業利益は3,918百万円（前年同四半期比35.3%減）、経常利益は4,042百万円（前年同四半期比35.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,335百万円（前年同四半期比33.1%減）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

1. シャッター関連製品事業

大型商業施設向けの重量シャッター等が堅調に推移しましたが、住宅用窓シャッターが低調であったため、当第3四半期連結累計期間の売上高は35,963百万円（前年同四半期比0.7%減）となり、営業利益は4,628百万円（前年同四半期比12.2%減）となりました。

2. 建材関連製品事業

オフィスビル及び大規模施設向けのスチールドアが低調に推移しましたので、当第3四半期連結累計期間の売上高は41,351百万円（前年同四半期比1.8%減）となり、営業利益は724百万円（前年同四半期比55.9%減）となりました。

3. サービス事業

緊急修理対応及び定期保守メンテナンス契約等が堅調に推移しましたので、連結子会社文化シャッターサービス株式会社を中心に、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,443百万円（前年同四半期比8.0%増）となり、営業利益は1,115百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。

4. リフォーム事業

競争が激化しているリフォーム業界において、定額パッケージ商品のバリエーション拡充やリピート率の向上に取り組みましたが、連結子会社B X ゆとりフォーム株式会社を中心に、低調に推移しましたので、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,738百万円（前年同四半期比3.1%減）となり、営業損失は143百万円（前年同四半期は営業損失77百万円）となりました。

5. その他

ゲリラ豪雨等に対する浸水防止用設備の止水事業及び太陽光発電システム等のエネルギー事業を含め、特に産業用の太陽光発電システム等が低調に推移しましたので、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,342百万円（前年同四半期比4.6%減）となり、営業利益は122百万円（前年同四半期比37.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は136,772百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,673百万円増加しました。流動資産は82,727百万円となり、1,702百万円増加しました。これは、受取手形及び売掛金が減少（7,366百万円）した一方で、商品及び製品が増加（5,675百万円）、現金及び預金が増加（1,237百万円）したことが主な要因であります。固定資産は54,045百万円となり、4,971百万円増加しました。これは、建物及び構築物が増加（1,932百万円）、土地が増加（883百万円）、投資有価証券が増加（865百万円）したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は73,979百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,602百万円増加しました。流動負債は48,244百万円となり、1,978百万円増加しました。これは、未払法人税等が減少（1,804百万円）した一方で、短期借入金が増加（2,180百万円）、支払手形及び買掛金が増加（266百万円）したことが主な要因であります。固定負債は25,734百万円となり、2,623百万円増加しました。これは、長期借入金が増加（2,250百万円）、退職給付に係る負債が増加（307百万円）したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は62,793百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,071百万円増加しました。これは、配当金の支払い（1,434百万円）により減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上（2,335百万円）により増加したこと、その他有価証券評価差額金が増加（1,045百万円）したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月8日の「平成29年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 22,478 | 23,715 |
| 受取手形及び売掛金 | 41,814 | 34,447 |
| 商品及び製品 | 9,170 | 14,846 |
| 仕掛品 | 785 | 1,021 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,001 | 3,109 |
| その他 | 3,878 | 5,667 |
| 貸倒引当金 | △104 | △82 |
| 流動資産合計 | 81,024 | 82,727 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 7,046 | 8,978 |
| 土地 | 9,633 | 10,517 |
| その他(純額) | 6,464 | 6,213 |
| 有形固定資産合計 | 23,144 | 25,709 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,009 | 2,560 |
| その他 | 2,182 | 3,135 |
| 無形固定資産合計 | 4,191 | 5,695 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 13,957 | 14,822 |
| 退職給付に係る資産 | 1,272 | 1,296 |
| その他 | 6,900 | 6,921 |
| 貸倒引当金 | △393 | △399 |
| 投資その他の資産合計 | 21,737 | 22,640 |
| 固定資産合計 | 49,073 | 54,045 |
| 資産合計 | 130,098 | 136,772 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 29,526 | 29,793 |
| 短期借入金 | 2,000 | 4,180 |
| 未払法人税等 | 2,078 | 273 |
| 賞与引当金 | 3,159 | 1,627 |
| 役員賞与引当金 | 174 | 90 |
| 工事損失引当金 | 35 | 82 |
| その他 | 9,291 | 12,197 |
| 流動負債合計 | 46,266 | 48,244 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,000 | 5,250 |
| 役員退職慰労引当金 | 501 | 585 |
| 退職給付に係る負債 | 18,238 | 18,546 |
| 資産除去債務 | 51 | 52 |
| その他 | 1,319 | 1,300 |
| 固定負債合計 | 23,110 | 25,734 |
| 負債合計 | 69,376 | 73,979 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 15,051 | 15,051 |
| 資本剰余金 | 12,297 | 12,298 |
| 利益剰余金 | 30,951 | 31,852 |
| 自己株式 | △155 | △156 |
| 株主資本合計 | 58,144 | 59,046 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,137 | 4,182 |
| 土地再評価差額金 | △77 | △77 |
| 為替換算調整勘定 | 122 | 145 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △604 | △503 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,576 | 3,746 |
| 純資産合計 | 60,721 | 62,793 |
| 負債純資産合計 | 130,098 | 136,772 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 98,227 | 97,839 |
| 売上原価 | 70,317 | 71,228 |
| 売上総利益 | 27,910 | 26,610 |
| 販売費及び一般管理費 | 21,857 | 22,692 |
| 営業利益 | 6,053 | 3,918 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 9 | 7 |
| 受取配当金 | 205 | 220 |
| 受取賃貸料 | 44 | 51 |
| 持分法による投資利益 | — | 7 |
| 助成金収入 | 34 | 7 |
| 貸倒引当金戻入額 | 1 | 6 |
| その他 | 76 | 78 |
| 営業外収益合計 | 372 | 379 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 30 | 36 |
| 持分法による投資損失 | 65 | — |
| コミットメントフィー | 6 | 6 |
| 為替差損 | 43 | 175 |
| その他 | 53 | 36 |
| 営業外費用合計 | 199 | 255 |
| 経常利益 | 6,226 | 4,042 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | 3 |
| 投資有価証券売却益 | — | 294 |
| 特別利益合計 | 2 | 297 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | 0 |
| 固定資産除却損 | 97 | 25 |
| 特別損失合計 | 97 | 25 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,131 | 4,314 |
| 法人税等 | 2,641 | 1,979 |
| 四半期純利益 | 3,490 | 2,335 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,490 | 2,335 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 3,490 | 2,335 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 635 | 1,013 |
| 為替換算調整勘定 | △5 | 9 |
| 退職給付に係る調整額 | △116 | 55 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 11 | 91 |
| その他の包括利益合計 | 525 | 1,169 |
| 四半期包括利益 | 4,015 | 3,505 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,015 | 3,505 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-------------------------------|---------------------|--------------|------------|-------------|--------|-------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | シャッター 関連製品 事業 | 建材関連 製品事業 | サービス 事業 | リフォーム 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客 への売上高 | 36,216 | 42,110 | 11,523 | 5,921 | 95,772 | 2,455 | 98,227 | — | 98,227 |
| セグメント 間の内部売 上高又は振 替高 | 2,515 | 8 | 559 | 2 | 3,085 | 142 | 3,228 | △3,228 | — |
| 計 | 38,732 | 42,118 | 12,083 | 5,923 | 98,858 | 2,598 | 101,456 | △3,228 | 98,227 |
| セグメント 利益又は損失 (△) | 5,270 | 1,642 | 1,114 | △77 | 7,950 | 195 | 8,145 | △2,092 | 6,053 |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電システム事業、止水事業、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,092百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,089百万円、棚卸資産の調整額△2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「建材関連製品事業」セグメントにおいて、新たにB X西山鉄網株式会社(旧社名:有限会社西山鉄網製作所)の株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額(償却前)は、当第3四半期連結累計期間においては2,436百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-------------------------------|---------------------|--------------|------------|-------------|--------|-------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | シャッター 関連製品 事業 | 建材関連 製品事業 | サービス 事業 | リフォーム 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客 への売上高 | 35,963 | 41,351 | 12,443 | 5,738 | 95,496 | 2,342 | 97,839 | — | 97,839 |
| セグメント 間の内部売 上高又は振 替高 | 2,666 | 18 | 656 | 9 | 3,350 | 130 | 3,480 | △3,480 | — |
| 計 | 38,629 | 41,369 | 13,099 | 5,747 | 98,846 | 2,473 | 101,319 | △3,480 | 97,839 |
| セグメント 利益又は損失 (△) | 4,628 | 724 | 1,115 | △143 | 6,324 | 122 | 6,446 | △2,528 | 3,918 |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電システム事業、止水事業、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,528百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,526百万円、棚卸資産の調整額△2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「建材関連製品事業」セグメントにおいて、新たに株式会社ワイエスホールディングスの株式を取得し、同社及びその子会社である株式会社カネシンを連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額(償却前)は、当第3四半期連結累計期間においては961百万円であります。